



近畿支部会報2017年11月号

長雨や台風、皆様無事にお過ごしでしょうか。被害にあわれた方にはお見舞いを申し上げ、早く元の様になられますようにお祈りします。気候が年々おかしくなっています。地球温暖化が進み、この異常気象は世界共通です。

この間アメリカ・カナダをサーバス旅行しました。そして、地球温暖化と私たちの日常生活について、感じる所がありました。どちらの国においても、ゴミの処理についてとてもきちんとしていられる事が印象的でした。先ずなるべくゴミを出さない生活をされている事です。サーバスホスト宅で食事の後片付けをしている時、残り物を冷蔵庫に保管するためサランラップを探しましたがありません。ホストに聞くとタッパー持ってこられ、サランラップは使っていません。又、蓋つきの大きめのマイカップが多用され、外出にはマイカップに水を入れて持参され、ペットボトルは殆ど使われていません。カフェにマイカップを持参すると、そこにコーヒー等飲み物入れてくれ、紙コップは使われません。ナプキンが当たり前のカナダのあるホストは、ナプキンを使わず必ず布巾を使っていました。ごみも落ち葉など一般ゴミや、リサイクル用等、それも用途別に何種類にも分けられ、それぞれが違う色の容器で回収しやすく工夫されており、ごみ回収の日にはその容器毎家の前におかれます。日本のようにお金を出して公害の元になるビニール袋を買ってその中に入れるなんて事はされていませんでした。Salt Lake City は海に面していなく、全ての水資源を山の雪解け水から得ていられます。地球温暖化で雪の量が非常に減っているという事です。私たちの時代は良いけれど子供たちの時代になったらと真剣に地球温暖化の事が考えられていました。

日本に帰って地球温暖化に疎い日常生活を反省している昨今です。

今回の会報は、次の内容でお届けします。

1. 例会報告	草津市	N,N
2. トラベル報告	レユニオンサーバス旅行 (5月5日~5月25日)	八尾市 I,M
		Wonderful Nature and Nice Peoples in Ireland	京都市 H.T
3. トラベラー受入れ報告	フランスからの来客	大津市 O.M
		フランスからの新婚さん	久世郡久御山町 A,K
4. お知らせとお願い		支部長

1. 例会報告

草津市 N.N

10月14日(土)、奈良の「てらかわ」にて12名の参加者で秋の例会が開催されました。Ni 会員による JICA でのボホール体験談にはじまり、体験談発表の後は質問も寄せられ、しばしフィリピンの空気に包まれました。Ko 会員の是非というお勧めのランチは、秋の風情たっぷりに飾られ味も申し分のないもので、美味しいを連発しながら歓談の時を持つことが出来ました。昼食後支部長さんに



より議題に沿って例会が進められました。草創期の頃より活躍された Ky さんが久方ぶりに参加され、古くからの会員とは久方ぶりの交流を楽しんだり、会の歴史が感じられた例会でありました。

議題の討議

(報告 支部長)

1、Servas On Line (SOL)について

支部会員が SOL にアクセスするための手立てについて考えました。

結論

- ① SOL については近畿支部 IT 担当役員を中心に進めていく。
- ② ホスト会員の居住地毎に担当役員を決め、担当役員が各ホスト会員の SOL についてサポートする。担当役員は 12 月末までに全ての支部ホスト会員が SOL にログイン出来るようにサポートする。
- ③ 担当役員は会員との間でわからない事が出てきた場合は、IT 担当役員に聞く。IT 担当役員は質問した役員に返事を行う。IT 担当役員でわからない事は、日本サーバス IT 委員長に聞いて、その返事を担当役員に伝える。
- ④ ログイン後の事 (利用の手引き p11 以降)についても担当役員がホスト会員をサポートする。

2、折り鶴ギフトについて

中国・四国支部&九州支部共同プロジェクトとして「折り鶴 GIFT」がスタートしました。「原爆の子の像」に奉納された折り鶴と英語の説明文をサーバストラベラーに渡し、折り鶴に託された思いを世界の人々に伝える活動です。両支部以外でもこのプロジェクトに賛同して下さる方は、トラベラーに折り鶴ギフトをお渡し下さいと言われていています。

結論

近畿支部でも折り組ギフトに取り組む。トラベラー受入れ予定のある会員は、支部長まで「トラベラーの名前、国、受入れ予定日、受入れ会員の住所・氏名」を知らせる。支部長から、中国四国支部長に連絡し、会員の所に折り紙ギフトが送られてくる。

3、日本モンゴル障がい児家族交流会の来年度の取り組みについて

モンゴルの障がい児支援のため、2015年モンゴルの方に日本で研修して頂いたのに続いて、2016年夏、日本・モンゴル障がい児家族が助け合える関係を作るため、モンゴルで交流キャンプを行いました。続いて2018年春1週間、大津市を中心に日本・モンゴル障がい児家族等各15名の参加で交流を行い、モンゴルの方に日本の障害児事情を学んでいただくと共に、家族同士の絆を一層深める取り組みをしようと思います。その費用は日本参加者は参加費各自負担、モンゴルの方の日本滞在中の費用(個人的な物を除く)は無料、そのため、モンゴルの方必要経費約38万円を賄うため、前回と同様支援金を集めたいと思います。

結論 提案通り実施し、そのための支援金を集める

4、東日本震災被災者支援の受入れについて

今まで大津市の Wa 会員が主に2週間続けて被災者を受け入れて下さっていましたが、今後は Wa 会員だけでなく、近畿支部の他の会員も協力して受け入れる事に決まりました。

Discover Bohol !!

草津市 N.M

ボホール概要

ボホール島は、フィリピン中部ビサヤ諸島の島であり、国内 10 番目の大きさを持つ。セブ島の東隣りに位置する。人口は約 114 万人、面積は 4,117km²。主な都市は州都タグビララン (Tagbilaran)。リゾートとして知られるほか、フィリピンメガネザル (Philippine Tarsier、ターシャ) という世界最小級の霊長類の生息地やチョコレートヒルで知られる。西にボホール海峡 (セブ海峡) を挟んでセブ島、東はカニガオ海峡をはさんでレイテ島、南にミンダナオ海 (ボホール海)、北はカモテス海に面している。海岸



は白く続く砂浜で、西隣りのセブ島と同様、観光客で賑わっている。特にタグビララン市の南にあるパングラオ島のビーチとダイビングスポットは観光客に人気がある。またダイバー憧れのスポットであるバリカサグに近いことから、世界中からのダイバーで賑わっている。これらリゾートへのツアーの多くはセブ島発でタグビラランが島内観光の拠点になっており、島の南海岸にはホテルやコテージなど多くのリゾート宿泊施設がある。島の半分は大理石で覆われており、全体に丘の多い地形である。島の中央部には、石灰石でできた高さ 30m-50m の草に覆われた円錐形の山が 1,268 個も並ぶカルスト地形「チョコレート・ヒルズ」がある。4~6 月の乾季に草が枯れて茶色に見えることから名づけられ、その異様な景観が観光名所となっている。中央部は不規則な地形の高原地帯である。高台から見える風景は圧巻。

宗教

言語は英語のほか、フィリピンの主要言語の一つ・セブアノ語の方言、ボホラノ語が使用されている。主な宗教はカトリックであり、プロテスタントも少数いる。敬虔なカトリック信者が多く、毎日曜日にミサに行っている。午後 3 時と 6 時にキリスト教のお祈りの言葉が流れ、スーパーでは買い物客が一斉に立ち止まる。



ターシャ

世界一小さなメガネザルとして知られるターシャ。成長したオスでも体重 120g、体長 12cm に満たないといわれ、手の平に載ってしまうほどのサイズです。真ん丸の大きな目に、ちょこんと左右に突き出した耳が何ともかわいらしく、映画『グレムリン』に登場するギズモや『スター・ウォーズ』のヨーダのモデルになったとも。目を動かすことができないため、その小さな首を左右に

180 度回転して周囲を見渡します。また、ターシャは繊細な性格の持ち主としても知られています。ストレスがたまると、なんと自らの頭を木の枝などに打ち付けて自殺を図ろうとするのだとか。体の造りもとても繊細で、皮膚や頭がい骨が非常に柔らかいため、間違っても木にぶつっただけで死んでしまうこともあるそうです。

ボホール島での農業プロジェクト

天水田での不安定な稲作栽培から安定した収量を目指した稲作栽培をするためにボホール灌漑プロジェクトが計画され、1980 年~1982 年にかけて OECF のローンにより、マリナオダムが建設される。このダムは 4960ha の面積を有し、2500ha の水田に灌漑水を供給する事を目的とていた。その後、日本の JICA の援助で、ボホール農業開発センター (Bohol Agricultural Promotion Center) が 1985 年に設立される。それに前後して、1983 年~1990 年迄、ボホール灌漑プロジェクトがスタートし、ボホール農業開発センターを拠点に調査・普及・農業教育を行い、灌漑稲作農業が根付くよう、日本のプロジェ



クト専門家が技術協力を行った。それぞれの専門分野の専門家がカウンターパートと呼ばれるフィリピン人に技術移転を行い、自分たちで問題解決ができようになる事を目標としていた。

ボホール総合農業振興計画 “Bohol Integrated Agricultural Promotion Project”

1996年11月～2001年11月

農業開発センターでの調査・教育だけでは地域の特性を反映した農業生産の普及が進まないため、地域の農業特性を調査・分析して灌漑農業を普及させる事を目的としてプロジェクトが開始された。メンバーは6人。チームリーダー、調整員、栽培、農業機械、灌漑排水、視聴覚の専門家が派遣された。島ウバイ地区のカパヤス灌漑地区（受益面積500ha以上、水利組合員約500名）をプロジェクトサイトとして、灌漑稲作をベースとした営農体系の改善を行う。生産向上だけでなく、農家の所得向上を目指した。最初の2年間は、カパヤス地区の農家調査を行って、定量・定性調査を行うとともに、営農指導を試みた。しかし、私が赴任していた1996年11月から1998年11月は、ダムのかさ上げ工事が完了されていないだけでなく、エルニーニョ現象の影響で雨量が少なく、水田稲作ができずに、借金を背負って土地を手放す農家もいた。調査は進んで行ったが、灌漑稲作は停滞した。後半の専門家により、栽培予定カレンダーや用排水管理カレンダーを作成し、稲の病気や害虫の発生を最低限に抑え、高収量を上げる生産方法が根付くようにカウンターパートと共に指導・教育を行った。又、裏庭や空き地を利用した菜園作りを普及させ、農家の所得向上につながる営農方法のアドバイスをを行う。それから20年位



が経過し、現在は、好調なフィリピン経済と相まって、灌漑稲作が定着するとともに、フィリピン国内の農業生産と収量が年々増大している。ボホールは中央ビサヤの穀倉地帯としてコメの品種改良を行うフィリピンの代表的な稲作研究機関と合同で増産に力を入れている。

日常生活

赴任中の1997年に次男が生まれる。妻は日本に一時帰国して出産。妊娠8か月で長男と帰国。出産後2か月で再赴任（ボホールに戻ってくる。）ドライバー、ハウスボーイ、ヤヤがいる賑やかな毎日。心優しいカウンターパートや地域の人たちに囲まれて平和なボホールで楽しい約2年間の時間を過ごすことができました。

最後に

それまでの、天水に頼るコメ生産は収量が低だけでなく、生産が天候に左右される為、安定した農業ができませんでした。灌漑稲作農業は、天候を心配せずに農業生産ができる方法なのですが、近代的な農業は、稲だけでなく肥料等を購入せざるを得ず、借金が前提の農業はそれまでの農業と比較してリスクが高くなっていくということを改めて感じました。小作人が多いフィリピンでは、借金が大きくなると、農家収入で返済するのが難しくなってしまいます。先進国の技術による生活向上というのは、全ての人が恩恵を受けるものではないという事を感じ援助の難しさを感じました。最近の農業生産の増え方を見ると導入当初の混乱は乗り越え、安定した農業生産に移行してきたのかなと嬉しい気持ちになります。

2017.10.14

2.トラベル報告

レユニオンサーバス旅行（5月5日～5月25日）

八尾市 I.M

私はレユニオンからのサーバス、Miさんのデイホストをした縁で、フランス領レユニオンを訪れました。関空ーパリーレユニオンと、1回の乗継でしたが、移動時間は乗継を含め約30時間もかかりました。

レユニオン島は、インド洋に浮かぶ小さな島です。周りを海に囲まれ2つの大きな山の麓から海にかけて町があります。8軒のお家にお世話になりました。小さな島なので隣町から隣町へという感じの移動でした。泊めて頂いた人達以外にもピクニック等で沢山のメンバーと出会いました。出会った皆さんにとっても親切にして頂きました。又、泊めて頂いた方それぞれに忘れがたいおもてなしを受けました。

Wonderful Nature and Nice Peoples in Ireland

京都市 H.T

6月17～7月12日夫婦でアイルランドを旅行しました。アイルランドのホストリストを見ると、メンバーがそんなに多くないので、条件に合う所に手当たり次第にメールを出し、プランが出来上がりました。旅行準備完了と思っていた矢先、ホスト出来ないとの3通のメールを受け取りました。ホテルを探したり、前後のホストに受け入れて頂いたりの出発でした。



6月18～20日 CELBRIDGE Ju, Fl(M) & An. Re(F)

18日、10時過ぎダブリン空港に着くと、我が家にも来られたJuが出迎えてくれました。早速家に行き、アイリッシュブレックファーストの御馳走。その後外出する予定だったのに、少し休憩するとベッドに横たわるやスヤスヤ。目を覚ますともう夕方、近くを楽しく散歩しました。

19日、朝早く旅行社に行き、出発2分前でぎりぎりツアーバスに間に合せて、1500年も前に建てられた修道院など、古い建物群が深い森の中に点在する神秘的なスポットのグレンダーロホやウィックロウ等田園風景を楽しみました。

20日、ダブリン市内観光、トリニティカレッジに行き、ライブラリーの蔵書の多さにびっくりでした。その後、ダウンタウンを観光しながら、町のはずれのギネスビールストアハウスに行きました。入場料は20ユーロと高かったものの、中に入れば美味しい食事、溢れるギネスビール、魅力的なアトラクションと大満足でした。その日は夕食後アイリッシュダンス&ソングを見にパブへ行こうと言う約束だったのに、夕食後休憩すると、これまた運悪く朝まで眠り込んでしまいました。

6月21, 22日 KILKENNY Ch. PO (M) & Ma. PO (F)



21日、キルケニーには昼前に着いて、お昼をホスト宅でよばれた後、キルケニー城や大聖堂等市内観光をしました。ダブリンと違ってこじんまりした町なので、とても心地良かったです。

22日、車で郊外を案内して下さいました。ヨーロッパで1番大きい修道院の遺跡、いろんなテーマで工夫を凝らした植物園、川べりの町の散歩等快いものでした。

ホストの家は「退職して時間が出来たから楽しんでいるのよ」と言われる通り、多くの手作りがとても可愛く飾られていました。私が折り紙で作った箱や手作りのマスコット人形をプレゼントすると、「素敵教えて」と早速折り紙の箱作りに挑戦、人形もサイズや作り方を教えると、「私もやるわ」と意欲満々でした。

6月23日 MALLOW Ju. AT(F) & Fr. AT (M)

23日、マローには1日しか泊まらないので、朝早く出発して10時過ぎにコークに着き、早速美術館

や博物館になっている刑務所を見学しました。夕方、マローに着くと、バス停で迎えてくれたホストはオープンカーでハイカラな服、すごくかっこよかったです。ホストの屋敷は門からは全然見えなくて、車で走ると花に囲まれた非常に素敵な家が現れました。ご夫婦はクルーズで日本に来られる予定でしたが、ご主人の股関節手術のためキャンセル、夕食にはクルーズに行く友達が来られ、富士山にもぜひ登りたいと日本の事を興味深く聞かれました。

6月 24~28日 TRALEE Co(M)

24日、コーク郊外のブルーニー城まで車で送ってもらいお城を見学しました。26mの高さにある有名なブルーニーストーンから仰向けに寝転んで体を支えてもらいながら身を乗り出して素晴らしい眺めを楽しんだ後、花が咲き誇る広い庭を心ゆくまで散策しコークに戻りました。皆が推薦するイングリッシュマーケットで遅い昼食を食べ、トラリーへの車中で食べる夕食を買って電車に乗りました。ダブリンでのお葬式を済ませてトラリーに来られるJu、Co (Juの息子)とは駅で待ち合せて、Coの家へ向かいました。Juはダブリンから長時間、ノンストップの運転で駆けつけてくれたのに、家に着くや早速夕食を作ってくれて、再会に乾杯でした。



25日、ティンダル半島をJuが車で案内して下さいました。小雨で遠くを見るのはイマイチでしたが、半島は初期キリスト教時代、修道僧の修行地だったので、その遺跡が多くあり、又、港町の散策を楽しみました。夕食は私が準備した日本料理を皆で楽しみました。

26日、Juは朝早くダブリンへ帰って行きました。こんなに遠い所まで来てくれて本当に感謝です。私たちは電車でキラニーまで行き、キラニー国立公園巡りのバスチケットを買って、ダンロー溪谷沿いの景色やロス城、修道院の遺跡を巡りました。

27日、観光バスでアイヴィラ半島のケリー周遊路巡りをし、美しい景観の山地と雄大な太平洋を楽しみました。夕食はコックであるCoが作ってくれ、今までで1番美味しい夕食でした。

28日、ぶらりトラリー市内を観光、よく歩きました。

6月 29, 30日 GORT Pa. FA (F) & Ne. HU (M)

29日、電車でゴールウェイへ行き昼前に到着。ゴールウェイで行きたいツアーの情報を集めてから、ゆっくり市内観光をしました。夕方ホスト宅のゴートへ行きました。駅ではホストのPaが迎えてくれ、彼女の家に行くとご主人のNeがパスタの夕食を準備してくれていました。彼はとても料理上手で今までポテトばかりだったので凄く新鮮で美味しく大満足でした。



30日、すごい晴天でPaがモハーの断崖を案内してくれました。8Kmも続く高低差のすごい断崖と青い海、風が強くて吹き飛ばされそうでしたが、Paが今までの中で1番天気が良くて素晴らしいと言いました。帰りは石灰岩の丘陵のバレン高原をドライブしてくれました。

彼らの家は250年ほど前の家で、自分たちで改造しながら住んでいます。マントルピースは本当に凄いものでした。

7月 1, 2日 GALWAY Hotel

1日、朝早くにゴールウェイに行き、ホテルに荷物を置いてすぐツアーでコマネラ国立公園へ行きました。雨が降っていましたが、コマネラ国立公園の象徴であるダイヤモンドヒルへ行き、山頂まで7キロの道のりを周囲の景色を楽しみながらウォーキングしました。

2日、これまたツアーでアラン諸島へ。海面から約90メートルの高さにあるドンエンガスの断崖は迫力満点でした。

7月3~6日 HOLLYWOOD El. DU(F) & Da. DU(M)

3日、バスは遅れる事があるので、7時半発のバスでハリウッドに向かった所、ベルファストに1時半に到着。Daが迎えてくれて、ベルファスト市内を観光しながら彼の家に行きました。夕方ハリウッドの海岸を散歩、ディナーには魚を用意してくれる楽しい家族です。



4日、ベルファストの市内観光をしました。何ととっても第一番は1912年氷山に衝突して沈んだタイタニック号事件を偲んで作られたタイタニックベルファストです。6階建の建物にタイタニック沈没に関する事が映像や実物など色んな物を駆使して展示され、動くカートに乗りながら見るというものでした。又、亡くなった方について生き立ちや「もはや生きられない」とわかった時の心情等もパネル展示されていて、故人の無念さや痛ましがひしひしと伝わって来ました。その夜は近くのサーバスホスト宅に泊まっていられるサーバスゲストや近所の人たちを招いての楽しいパーティでした。

5日、マグマと氷河が作り上げた自然の芸術、待望のジャイアンツコーズウェイを案内していただきました。独特の六角形の中条節理が見事で、8Kmにわたって80mの断崖が伸びており、広大な景色を見ながら遊歩道を歩きました。昼食は海辺でDaが作ってくれたサンドイッチのピクニック。昼食後、断崖と小さな島を結ぶロープの吊り橋へ行き、入場制限の吊り橋を渡って人に荒らされていない島の自然を楽しみました。



6日、バリーキャッスルは海辺のリゾート地としても有名で、今日もDaがピクニックランチを作ってくれてお出かけです。まずはお城へ。広大な敷地の中にある個人所有のお城ですが、どのお城でも見るような部屋だけでなく、たくさんの使用人の仕事場、台所や洗濯場など今までに見た事のないものも見ることが出来て、すごく良かったです。敷地もとても広く花咲き乱れる庭園や海沿いの小道、森のように木が生い茂る所等堪能するほど歩きました。その後、バリーキャッスルにある彼のセカンドハウスで休憩して帰りました。

7月7, 8日 DUNMORE EAST Vo. BR (F)

7日、ウォーターフォードへ。バス停ではVoに迎えられ、ウォーターフォードの町を車から観光しながらダンモアイーストのホスト宅へ。ダンモアイーストは小さな港町で広大な自然とはまた違う魅力があり、心休まる豊かな自然でした。ホストも魚が好きで大好きな魚料理でした。

8日 ウォーターフォードで18世紀から続く歴史的伝統産業のウォーターフォードクリスタルに行き、目にも鮮やかなクリスタル、空気を入れて容器を作る作業や、精巧なカッティングの様子など、製造工程を見学しました。その後トラモアの小泉八雲記念庭園へ。庭園は小泉八雲が生まれてから亡くなるまでの生涯を、一こまずつ作庭されているというユニークな構成でした。土曜日だったので浜辺は溢れんばかりの人が水泳やサーフィンを楽しんでいました。



7月9, 10日 DUBLIN Do. FI (F) & Wi. FI (M)

9日、ウォーターフォードの観光を楽しんだ後、列車でダブリンへ。ダブリン駅ではWiに迎えられて家に行き、美味しい夕食となりました。

10日 港町ハウスに寄ってから、エジプトのピラミッド以前までさかのぼる約 5500 年前の巨大な墳墓群のニューグレンジと、かつてアイルランドの大王が居住したといわれるアイルランド人の心の故郷タラの丘への一日ツアーを楽しみました。

素晴らしい自然と素敵な人たちに恵まれた楽しいアイルランドの旅、その中で 1 番の印象は北アイルランド問題です。アイルランドの町にはアイルランドの旗がはためいていましたが、北アイルランドに行くやその旗は全くなく、ユニオンジャックと北アイルランドの旗だけでした。私が行った日は、北アイルランドの将来（アイルランドはイギリスから独立しましたが、北アイルランドはイギリス側に残り UK の 1 員なので、独立するかこのままが良いか）が議会で話し合われる初日でした。北アイルランド問題に疎い私は、人々は独立を望んでいると思っていましたが、そうではありませんでした。過日の EU に残るか離脱するかについても、UK 全体では非常にわずかの差で EU 離脱が決まったのに対して、北アイルランドでは離脱賛成が 60% だったそうです。北アイルランドの人たちは、UK の一員であることに非常に誇りを持っていて、正に大英帝国ここにありの感じでした。

3. トラベラー受け入れ報告

フランスからの来客

私にとって第二のふるさとしてあるフランス。たった一人で片田舎のパン学校に通い、様々な国の方々に可愛がって頂きました。親切にして頂いた他国の方に少しでも恩返しができるようにこの活動に参加しています。7月18日～21日、パリ近郊在住のスペイン出身で料理上手でイクメンな Fr.さんとフランス出身の癒し系な Moさん夫婦が来られました。初めてのフランスからのお客様でフランス語を使えるという事で快く受け入れ致しました。夕食は、ジャパニーズカレーや一般的な家庭料理を楽しく家族と一緒に食べました。そんな些細な料理もおいしい！おいしい！と凄く喜んでくれました。自国からサフランを持参して特製パエリアを作って頂き、出来上がりにレモンをジュースと絞り、さすが本場の味！と感動しました。

私の休日には、一緒に忍者屋敷に行ったり、たぬきがいっぱい信楽に行ったり。荷物がすでにお土産でいっぱいなのにもかかわらず、たくさん信楽焼を購入されました。旦那さまはスペイン人には珍しく茶碗蒸しの大ファンで、茶碗蒸し用のうつわをじっくりと見ておられました。きっと、そのうつわたちはフランスの食卓を賑わせていることでしょう。今度は、パリでの特製茶碗蒸しを期待しています。(フランス風?)

大津市 O.M



フランスからの新婚さん

新婚旅行で日本に行きたいとメールをもらいました。これは、An が計画し、Si がサポートしていると話していました。フランスでの結婚式の後、ブログで旅行の様子を書いていました。こんな旅行って、うらやましい。

10月17日東京、富士山、広島、奈良から我が家へバックパックスタイルで到着。夕食後、英会話クラスと一緒に行きました。フランスからサント - ペテ

久世郡久御山町 A.K



ルグルグ、モスクワ、シベリア鉄道でイルクーツク、ウランバートル、香港、ネパール、日本、ニュージーランド、タヒチ、イースター島、チリ、ボリビア、アメリカ、カナダ、アイスランドからフランスへと1年がかりです。二人が夕食を作ってくれると言うので、近所の方に声をかけました。

18日伏見稲荷大社、祇園、錦市場を散策して帰宅。夕食後、二人の着付けをして、写真を撮りました。ウランバートルで参加したナーダム祭の写真を見せてくれました。私達が、昨年モンゴルに行った時のアルバムを見せると、びっくりしていました。HiさんUn君の家に泊まったそうです。Un君は大きくなってガールフレンドができたと言ってくれました。私達は、来年5月にHiさん達と交流できるのを楽しみにしています。

19日は、一緒に車で、流れ橋へ行き、四季彩館で巻きずしといなりずしとわらびもちを買いました。石清水八幡宮では、ボランティアの方に案内をして頂きました。イオンでランチ。夕食の食材の買い出しをしました。帰宅後、二人はスマホを見ながら料理を始めました。メニューは、トマトの詰め物、サラダとパン、ポテトグラタン、メレンゲです。ワインを飲みながら、9人でディナーを楽しみました。



20日は、嵐山竹林から龍安寺、金閣寺をまわって帰宅。私達が出かけていたので、夕食は二人だけで用意してもらいました。私達の知り合いが訪ねてきて、義母にSiは日本語を駆使しながら伝えてくれました。

21日は、モンゴルで知り合いになったMyさんの住んでいる横浜へ移動しました。日本のことに興味を持ち、とっても楽しんでいるようでした。

10月22日、台風21号の影響で、流れ橋が流されてしまいました。

4.お知らせとお願い

支部長

*サーバス近畿支部総会を12月10日(日)午後5時~8時、昨年と同じく梅田のニュートーキョー第一生命ビル店で行います。詳しくは追って連絡しますので、よろしくご予定下さい。

*今サーバスでは電子ホストリストを使っていますが、来年1月からはServa On Line (SOL) が全面稼働します。それで、SOLへのログインを今年中に終わらないといけません。過日ご案内しましたように、近畿支部ではホスト会員のSOLの関する事については、地域毎に担当役員を決めてサポートする体制を取っています。少しでもわからない事があればどうぞいつでも担当役員にお尋ね下さい。

*中国・四国支部&九州支部共同プロジェクトとして「折り鶴GIFT」がスタートしました。それは「原爆の子の像」に奉納された折り鶴と英語の説明文をサーバストラベラーに渡し、折り鶴に託された思いを世界の人々に伝える活動です。トラベラーを受け入れる予定のある方は、「トラベラーの名前、国、受入れ予定日、受入れ会員の住所・氏名」を支部長までお知らせ下さい。会員の所に折り紙ギフトが送られてくるように支部長から中国四国支部長に連絡します。

*来年の日本サーバス国内会議は3月17, 18日東京で行われる事になりました。皆様、どうぞ足をお運び下さい。詳しい案内は後日になりますが、手元に来たら皆様にお知らせします。

*2017年度サーバス年会費(一般3000円学生2000円休会者B1500円)をまだ送金されていない方は、日本サーバス近畿支部の口座へ送って下さるように宜しくお願いします。

以上